

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2026年度）>

物理融合 A I 協調制御による多用途向け異種混合リユース電池システム開発

1. 事業概要（蓄電池利用促進分野、フェーズ B）

〔内容〕使用済車載電池をモジュール単位で診断・再構成し、物理モデルとAI手法を組合わせたモデル化、制御を行うことで、劣化状態や種類の異なる電池を安全・長寿命に活用可能なリユース電池システムを開発する。

〔背景・経緯〕EV普及に伴い使用済車載電池の増加が見込まれる一方、従来のパック単位のリユースでは、電池内部の劣化ばらつきにより活用可能な電池が限定される。

〔狙い、波及効果〕電池の有効活用とコスト低減を通じ、資源循環と再生可能エネルギー導入拡大に貢献する。

〔事業化〕荷役運搬用の産業車両向けから事業化し、商用モビリティへ展開。将来的にはエネルギーサービスへの展開を目指す。



2. ReAmp株式会社

本社所在地	東京都八王子市
設立／資本金	2026年/100万円
従業員数	1名（西暦2026年8月現在）
事業内容	使用済車載電池をリユースしたリチウムイオン電池システムの開発

3. その他機関

機関名：国立大学法人大阪大学

・電池材料及び劣化状態の分析を通じた、電池物理モデル構築のための基盤データ取得を担当

機関名：国立大学法人東京大学

・使用済電池の供給制約、及び需要家及び制度要件の調査、及びそれを統合的な循環モデル設計を担当